

●年間指導計画

課題・テーマ	気候変動の影響の学習と地域発信のエネルギーシステムの環境経済効果の学習						
作成推進校	福島県立新地高等学校						
対象生徒	3学年（54名）、2学年（66名）、生徒会役員（12名）						
	5・6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
テーマ研究 （3年3名）	テーマおよび課題設定	課題解決の方法を調査 （関係機関との連携）	環境教育フェスティバル発表	新地町地域エネルギー国際フォーラム発表	課題解決およびまとめ	新地町文化祭・校内文化祭発表	まとめ
総合的な学習の時間（3年）		先駆けの地における再生可能エネルギー教育	環境とエネルギー開発	再生可能エネルギー	会津若松ウインドファーム見学	まとめ	
総合的な学習の時間（2年）		推進事業についての説明と今後の展開		環境とエネルギー開発		原子力発電と放射線	福島県環境創造センター訪問
生徒会活動					環境とエネルギー開発	再生可能エネルギー	四時ダム ESCO 事業見学

●実践成果

テーマ研究	震災復興事業の一つとして再生可能エネルギーの推進の取り組みが行われているが、その取り組み内容について調査した。被災地においては、まちづくりと関連した事業となっているため、関係機関と連携をとりながら、まちづくりと再生可能エネルギー事業をまとめて、生徒達の考えた計画を新地町に提案するまでに至った。
総合的な学習の時間（3年）	福島県が進めている再生可能エネルギー先駆けの地アクションプラン（第2期）について、再生可能エネルギーのそれぞれの分野において取り組んでいる施設を訪問し、実際に見学、説明を受けることで、理解を深めることができた。福島県環境創造センターでは、震災後の復興について全般的に学習することができた。
総合的な学習の時間（2年）	
生徒会活動	